



PTA家庭教育委員会主催「読み聞かせ」

学校長 小木曾敏樹

7月3日(月)・4日(火)の2日間、PTA家庭教育委員会主催の『読み聞かせ』に多くのお父さんお母さんがご参加くださり、みなみっ子タイムに各学級で読み聞かせをしてくださいました。

子どもたちは、この読み聞かせをととても楽しみにしているようで、真剣に見つめ、真剣に聞き入り、本の世界に入っていきます。写真を撮るために教室に入っても、こちらをチラリとも見ることはありません。それだけ本の世界に入っているのですね。

読み聞かせは、言語力の向上、聴く力の向上、学力(国語力)の向上、想像力の向上、集中力の向上、情緒の安定、感性が豊かになるなどの効果が期待できると言われています。もちろん、1回2回で効果が出るものではなく、小さな時から毎日繰り返すことが大切です。読み聞かせによって本好きになり、自分で本を読む子になればその効果はさらに高まることでしょう。何歳まで読み聞かせをするのかは各家庭で違いますが、ここまでというラインはありません。中学生になっても読み聞かせをすることで効果は期待できるとも聞きます。読み聞かせという形ではなくても、一緒に本を読む、親子で本のストーリーについて話す、本を紹介し合うなど、本を通じて親子で時間を共有することができれば、それも素敵だと思います。市立図書館が新しくできた新町の「ひと・まちテラス」に移転します。いい本との出会いを求めて、足を運んでみたらどうでしょう。

我が家では、四日市にある児童文学専門の書店に子どもたちを連れて行ったり、その店から定期的に絵本を送ってもらったりしては、子どもたちと本との出会いを作っていました。人にはそれぞれ人生を変えるような大切な出会いがあります。本との出会いもその一つだと思います。この読み聞かせが大切な出会いになることもあるのではないのでしょうか。



「中間歌声交流会」素敵なステージでした

7月6日（木）の3・4時間目、歌声交流会の中間交流会を体育館で行いました。各学年とも、毎朝歌ってきた成果を出し、とても素敵なステージを作りました。楽しい歌、元気な歌、効かせる歌と、学年の発達に応じた素敵な歌声を暑い体育館に響かせました。歌声交流会の本番は12月を予定しています。昨年度、3年ぶりに実施した歌声交流会は、文化会館をお借りしての初めての試み。どの学年もとっても素敵な歌を聞かせてくれました。低・中学年は目でも楽しませてくれました。高学年は思いを乗せて伝えてくれました。とっても見応え、聞き応えのある歌声交流会になりました。今年はさらにグレードアップしたステージにできるよう、この7月に中間交流会を行ったわけです。お互いに刺激し合い、いい歌を目指そうとする思いを一年間持ち続け、歌い続けられたらいいなと思っています。

今年、南小学校が大切にしていくこと、それは「Output」。「Input」の学びだけでなく、「Output」することで学びを深め、確かなものにしていくこと。発表、プレゼン、そして、歌もそうです。表現することで子どもたちの成長を図っていきたいと思います。



「昭和会」の皆様 ありがとうございます

毎年この時期に、「昭和会」の皆様から、手縫いの雑巾をたくさんいただいています。今年もまた、たくさんいただきました。いただいたことを全校児童に伝え、各教室の雑巾を新しい物に交換します。古くなった雑巾は、洗った後ワックスがけ用の雑巾として使います。毎日使う物ですし、絵の具や墨汁、こぼした給食など、色が付くものが学校にはたくさんあります。年間何回も行っている避難訓練では、上履きのまま避難するので、雑巾はたくさん必要になります。毎年ご寄付いただくことで、余裕をもって使うことができとても助かっています。本当にありがとうございました。

